海外レポート	**中国　大連**

「大連市で万衆城 RCEP 越境貿易センターが開業」

趙　万利

大連万衆城 RCEP 越境商品展示貿易センターの開幕式が 7 月 19 日に行われ、正式に運営が開始しました。当日に大連市工委書記、自由貿易試験区党委書記、大連税関の代表者及び各国の代表者が出席し、万衆雲倉の代向前・董事長は開幕式で、「消費者は国を出ることなく海外の商品を購入できる」とアピールしました。

先日の大連市政府の記者発表会でも、RCEP（地域的な包括的経済連携）協定（※）や自由貿易試験区の促進戦略の実施に関する内容が発表されました。今回大連万衆城 RCEP 越境商品展示貿易センターの開業は促進戦略に対する重要な一歩になります。

※RCEP 協定は、2022 年 1 月 1 日に、日本・中国・韓国・ASEAN10 ヵ国にオーストラリアとニュージーランドを加えた 15 カ国について発行された、工業製品や農水産品の関税が段階的に撤廃される自由貿易の協定のこと。

【開幕式の様子】

大連万衆城 RCEP 越境商品展示貿易センターは、大連市の中国（遼寧）自由貿易試験区（保税区エリア A 区）で、敷地面積は 3 万平方メートル超、中国東北部で最大規模の越境 EC プラットフォームとなります。現地企業の万衆雲倉グループが進めている越境 EC プラットフォーム（保税倉庫、保税商品展示、通関システム、電子商業モール、物流などの総合サービスの機能を備えている。）の中心となる施設です。

同センターでは日本、韓国、東南アジア、オーストラリアなど 20 以上の国と地域から、日用化粧品、食品、酒、家電製品、母子用品、健康食品など、約 5,000 種類の特徴ある越境商品を展示・販売しています。商品は全て税関の監督管理を受け、そのうち 1,210 種類の輸入品が関税減免の対象となるため、商品コストを大幅に削減することができます。同センターは企業以外の一般客向けにも開放されており、来場者は展示されている越境商品を実際に手にとって見ることができます。また、購入を希望する場合は、EC モールサイトから注文することで通関手続きが瞬時に行われ、その場で商品を受け取ることができる「即買い、即通関、即完了」という仕組みになっています。

【センターの現場の様子】

本プロジェクトは、去年から試験運営を徐々に開始しており、今年 2 月 3 日に「日本製品スペシャル体験活動」を行いました。今回正式に開業した後は、山口フィナンシャルグループなどと連携し、日本商品を取りそろえる計画です。万衆雲倉は、今後 3 年間で越境貿易額は 150 億元（約 3,000 億円）以上、10 億元（約 200 億円）の節税を実現し、大連と海外との友好交流・貿易を促進する重要な架け橋となることを目指しています。

次のステップとして、大連自由貿易区は税関、税務、ビジネス、外事、外貨などの部門と積極的に連動し、越境 EC プラットフォームの育成を強化して持続的に発展できる環境を作っていきます。

大連政府が先日発表した政策には RCEP 促進戦略のほか、外資企業の投資の円滑化、外国人材居留や就労の利便性向上、外資投資を促進する地方レベルの法律整備などの一連の措置も含まれるため、今後、大連市はさらに海外と密接に交易を広げていくと予想されます。

参照：（以下中国語記事）

大連万衆城 RECP 越境商品センター

大連市人民政府　参加万衆云倉越境商品 O2O 体験活動